

B-131 運針に関する研究(第6報)

愛知女短大

阪本弘子

名古屋市立女短大

佐野恂子

岐阜女短大

○山田令子

目的

前回と同様の被検者に、異なる材料を与えて運針を実施し、運針動作におよぼす結果を観察した。材質の変化が、運針動作、針目、時間、動作形態に与える現象をとらえ検討を行なった。

方法

運針材料は、教材として用いられる平絹、ブロード、ゆかた地の3種類を使用した。観察の方法は前報と同様である。

結果

運針動作を材質の観点からみた時、次のようなことがわかった。

1. 運針速度は平絹が最良で、次はブロード、ゆかた地の順である。
2. 針目の正確率のよいものからあげると平絹、ブロード、ゆかた地の順となる。